

blanClass

2014 11-12 Live Art on Every Saturday and more

楽観的にいきま しょう。

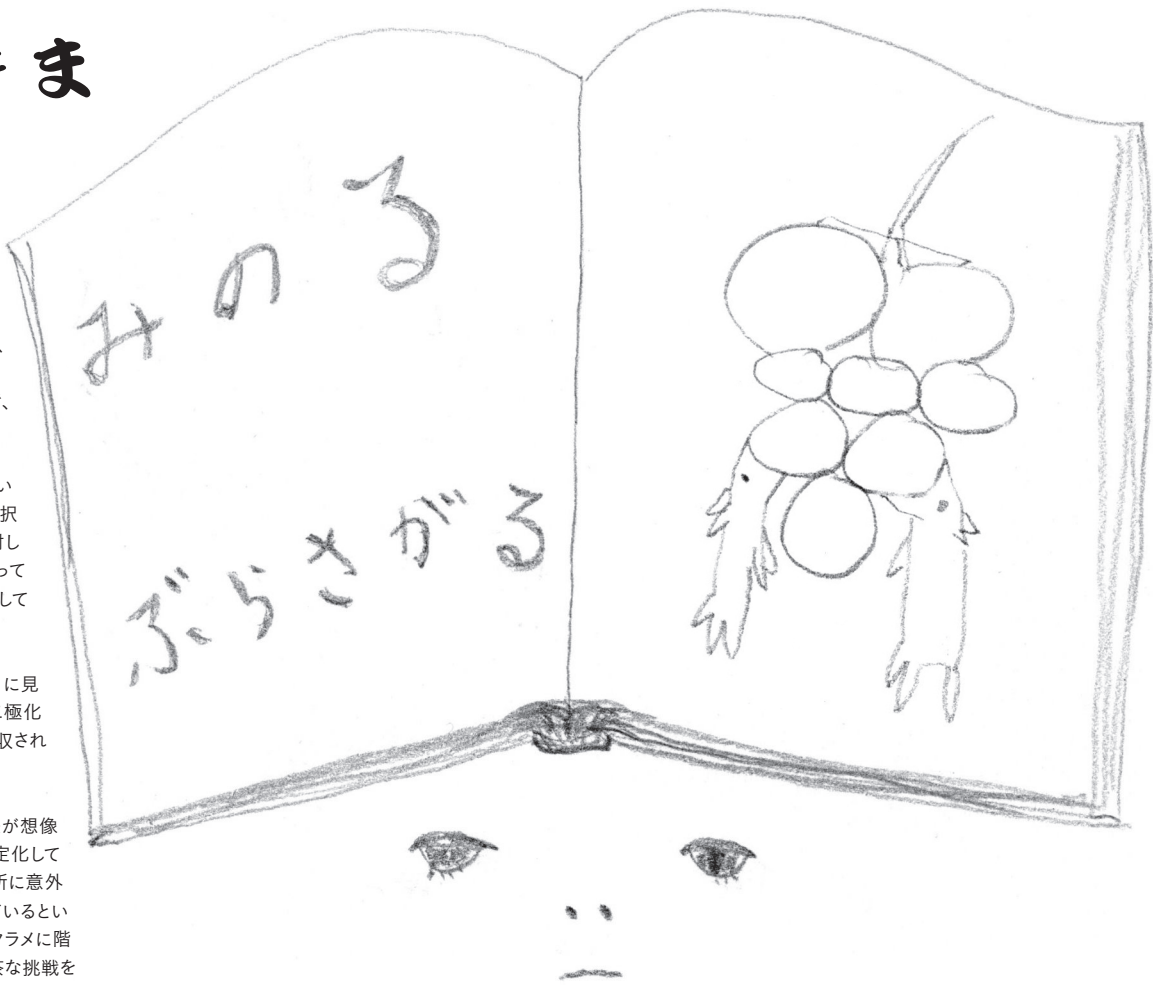
現在の金融型資本主義経済をそのまま放っておくと、世界中の経済格差は開いていく一方なのだそうだ。ということは、オリンピックで盛りあがって、久々のバブルがやってきて、景気が良くなればなるほど、ごく一部の富が膨れ上がるだけで、貧困はより一層深刻化していくということだ。

そして格差を食い止める方法は、富裕層に重い税を課していくか、中間層や貧困層の所得を底上げしていくかの2つの選択肢しかないという話になる。当然富裕層や財界は重い税に対して猛烈な反発をするだろうし、どちらかといえば強い力を持って権力を誘導するだろう。反対に中間層や貧困層は権力に対して不満を溜めてくことになる。

表面的には多種多様なジャンルの情報が飛び交っているように見えるけれど、実際には支配的な価値観を真ん中に置いて、二極化が進んでいる。その根っこの思想は1つの経済に向かって回収されていくようなのだ。

たとえうまくして格差が縮まったとしても、なぜか面白い未来が想像できない。そうなったら、今以上に階層が安定した状態で固定化してしまう気がするからだ。それどころか、もうとっくに意外な場所に意外な人材が出てくる気配がしない。適材適所に人が配置されているといえば聞こえがいいが、新陳代謝といったらいいか、もっとデタラメに階層がシャッフルされて、どこにいても場違いな人がいて、無茶な挑戦をしてみたいのと思う。

そうした経済だけを根拠にした現状に気がついてしまうと、偏見に満ちた悲観的なムードも無理からぬことだと思う。しかも悲観的な考え方は狭く見れば、いかにも辻褄が合っている。でもやっぱりそれは考えることをあきらめる姿勢にほかならない。悲観的なムードが高まれば高まるほど、どうせろくなことは起こらないに決まっているのだ。 〆



もちろん自分が目の当たりにしている貧困にもゾッとするが、あえて楽観的に考えることにしたい。たとえば格差を縮める方法は本当に2つの選択肢しかないのだろうか？ 経済が向かうべき方向は本当にたった1つしかないのだろうか？ もしもそれが免れないことであったとしても、個人のレベルや小さなシステムでこそ試せることもあるのではないだろうか？ お金持ちにしてやられるだけでなく、お国の政策を頼りにするだけでなく、だれかに媚びるわけでもなく、なにかとてもオリジナルな経済がそここに実践されることを期待してやまない。

さてblanClassも6年目に入りました。期待しているだけでもいけないので、アートをツールにこれからも、あれやこれやとあくまでも楽観的にやっていきます。

小林晴夫



ブランクラス Live Art & Archive
〒232-0006 横浜市南区南太田4-12-16-2F
info@blanclass.com
ディレクター：小林晴夫
+product: 安部祥子
インターン：野本直輝 宮澤 響

2014 11

mon.	tue.	wed.	thu.	fri.	sat.	sun.
第3回 イドガヤ・ビエンナーレ 通常のイベント時のみ開場します。作品は、blanClassにおかれている解説をご参照ください。					1 CAMP [3日連続CAMP]	2
第3回 イドガヤ・ビエンナーレ						
3 文化の日	4	5	6	7	8	9 伊藤文雄 op.15:30/st.16:00 ¥1,300 w/1drink
第3回 イドガヤ・ビエンナーレ						
10	11	12	13	14 月イチ 杉田 敦 nano school#22 st.18:30 ¥1,200・学¥1,000 要予約	15 松田 修 op.18:00/st.19:00 ¥1,500w/1drink	16
第3回 イドガヤ・ビエンナーレ						
17 月イチ 岸井大輔 アジアで上演する#3 st. 19:30 ¥2,000 要予約	18 秋分の日	19	20	21	22 山田 崇 op.15:15/st.15:30 ¥1,000 出張blanClass @長野県塩田市 nanoda	23 勤労感謝の日
第3回 イドガヤ・ビエンナーレ						
24 振替休日	25	26	27 月イチ CAMP えをかくこと #7 st. 19:30 ¥1,200・学¥1,000 要予約	28	29 原田賢幸 16:30—18:30 ¥1,300 w/1drink	30
第3回 イドガヤ・ビエンナーレ						

2014 12

mon.	tue.	wed.	thu.	fri.	sat.	sun.
1	2	3	4	5 月イチ 岸井大輔 アジアで上演する#4 st. 19:30 ¥2,000 要予約	6 平倉圭 op.17:00/st.18:00 ¥1,500 w/1drink	7
第3回 イドガヤ・ビエンナーレ						
8	9	10	11	12 月イチ 杉田 敦 nanoschool#23 st.18:30 ¥1,200・学¥1,000 要予約	13 高橋耕平 op.18:30/st.19:30 ¥1,500 w/1drink	14
第3回 イドガヤ・ビエンナーレ					○	
15	16	17	18 CAMP えをかくこと #8 st. 19:30 ¥1,200・学¥1,000 要予約	19	20 田中功起 op.18:30/st.19:30 ¥1,500 w/1drink	21
22	23	24	25	26	27	28
12月21日～1月9日はblanClassは冬休みに入ります。						
	天皇誕生日					
29	30	31	2015 1	2	3	4
			元旦			

Now on
Sale !!!!!

購入希望の方はメールにて
お問い合わせください。

info@blanclass.com

【対談集】

鷹野隆大+ 秦 雅則 [写真か?] 定価:¥1,500

取扱店: 3331 Art Chiyoda Shop, NADiff (本店、東京都写真美術館、東京都現代美術館)
2011～2012年、blanClassで、気鋭の写真家、鷹野隆大、秦 雅則による2人展と対談が3回におよんで行われた。2人の言葉は、異なる世代のせいかな？ 違う位相の価値観が、あくまでもパラレルに「写真」をめぐる。しかし結果的に現在の日本の状況そのものをあぶり出している。そこで3回分を丸ごとおさめた、写真を拠点にした希有な対話集を発行する。

【DVD】

多田正美 w/ 鈴木理策 [西浦の田楽] オープン価格

音楽家、多田正美の表現に大きな意味を持つ奇祭、「西浦の観音様のお祭り」(静岡県西浦地区)を地続きの文化として交換してみようという企画。2011年10月29日「新・港村」にて、中川敏光、伊藤啓太、柿ハンドルライブと舞いびと達とともにコラボレートされたパフォーマンスと「西浦の観音様のお祭り」の映像&多田正美インタビューを収録したDVD。

blanClass membership
はじめました!!

それぞれ豊富な特典をご用意しております。詳細は↓
http://blanclass.com/japanese/membership/

blanClassの活動を応援、ご支援、ご協力していただけるメンバーを広く募集します。

スタンダードメンバー：ステューデント年会費 ¥10,000、シングル年会費 ¥20,000、ペア年会費 ¥30,000

プレミアムメンバー：フレンド年会費 ¥50,000、フェロー年会費 ¥100,000

サポートメンバー：ベネファクター年会費 ¥250,000、パトロン年会費 ¥1,000,000

WEB内の申込フォーム、またはリーフレットの申込書、blanClass受付でも(現金のみ)お申込みいただけます。

【リーフレット請求・お問い合わせ先】ブランクラス 〒232-0006 横浜市南区南太田4-12-16-2F info@blanclass.com

●現在blanClass Live Art 5年間の記録をネタに眞島竜男さん対談集「This is not an Archive (仮)」を制作中です。年内に出版予定。出版が決まり次第告知します。

10.31〔金〕,11.1〔土〕,11.2〔日〕

CAMP〔3日連続CAMP〕

隔月で行っている恒例のCAMPイベントは5周年記念特大版!!
3日間連続でイベントを行います。
詳細はblanClassやCAMPのサイトで。

〈CAMP予約方法〉予約フォームかメールでご予約ください。
〈予約フォーム〉<http://bit.ly/LXO3ao>
〈メールアドレス〉notesoncamp@gmail.com
〈メールのタイトル〉キャンプ予約
〈メールの本文〉①イベント名 ②氏名 ③メールアドレス ④参加人数
※ 当日参加も大歓迎です。その場合でも準備がありますので、ご予約をお願いします。
CAMP <http://ca-mp.blogspot.com/>

11.9〔日〕|映像上映／公開制作

伊藤丈紘「いくつかの声、ひとつの夢、島／映画『Out there』のためのシナリオ」

open 15:30 start 16:00 ¥1,300 (one drink)

※15:30から映像の上映を始めます。17:00頃より公開インタヴューを行います。
未完のままの映像を通して、観客が複数の声／登場人物として映画を経験することの可能性を考えたいと思います。イベントでは、同時期に撮影され制作途上にある映画『Out there』の16mmフィルム映像抜粋を上映します。映像はあらかじめ用意されたシナリオをもとに台湾で撮影された無人の映像です。その映像から生まれる様々な言葉を、制作中の映画とは異なったもうひとつのシナリオとして描きだす試みです。

11.15〔土〕|参加型ワークショップ／パフォーマンス

松田 修「罵倒遊戯」

open 18:00 start 19:00 ¥1,500 (one drink)

罵詈雑言、差別用語、汚言、といった悪意を伝える為の言葉があります。その悪意の言葉は、匿名性の強いネット上には溢れていたりと、生活の中で直接耳にする機会もあると思います。このように比較的僕達の近くにある悪言達を用いて、使い方を少しずらし、参加者と共に「悪言による、悪言とは違う何か」を作り出したいと考えています。

出張blanClass@塩尻 nanoda

11.22〔土〕|パフォーマンス／トーク

山田 崇「デルタ線」

open 15:15 start 15:30 ※変更の可能性あり ¥1,000

地方公務員であり、塩尻商工会議所勤務、空き家プロジェクトnanoda（なのだ）代表。最近では元ナンパ師。今回のblanClassでは、それぞれのフィールドでは出来ないパフォーマンスを敢えて塩尻を会場として行う。自分の発言を、タグ付けする、境界の引き直し、マッピングを試みる。

「デルタ線（デルタせん）」
三角線（さんかくせん）とも言い、三角形に敷設された線路のことである。列車の進行方向を変えずに各方向に直通できる。英語ではwye（ワイ）という。ギリシャ文字のデルタ（Δ）に形が似ていることから名付けられた。

企画：吉田和貴
会場：グレイスフル塩尻13階「地域交流センター」 長野県塩尻市大門八番町9－10
HP：<http://www.shiojiring.jp/> / 空き家プロジェクト-nanoda/

《予約方法》「しおじりまちの教室」ホームページからお申込みください。
<http://towncampus.net/>

11.29〔土〕|実験・検証・パフォーマンス

原田賢幸「階段の五段目と七段目を気かけながら足早に駆け上がろうとした。見慣れない荷物のゆくえ。踊り場にたどり着いたのも束の間、呼び止めたのは目の端で見流したビニール傘。」

16:30 — 18:30 ¥1,300 (one drink)

昨日と明日では、いや数十秒前と今でさえ、感情はリアルタイムに変化し続けている。日常生活において感情が湧き起こるきっかけは、些細なことや積み重ねであったり、時として重大な出来事であったりとさまざまだけれど、何かを感じるとは主体的な行為なんだろうか。
※今すぐにでも捨てたいけれど、思い出があってどうしても捨てられないでいるモノを持ってきてください。
※2時間の中で1人づつ体験していただくイベントになります。終了後に公開インタヴューを行います。

12.6〔土〕|パフォーマンス／レクチャー

平倉 圭「ピカソ他を分解する（延長され、埋め込まれたヴァージョン）」

open 17:00 start 18:00 ¥1,500 (one drink)

ピカソ他（Picasso et al.）の物体化された思考プロセスを分析し、絵画あるいは絵画をひとつの焦平面とする諸技術と有機体の合生的ネットワークが「考える」とはいかなることなのかを、再帰的に物体化しながら考える。

12.13〔土〕|参加型パフォーマンス

高橋耕平「発話する主体と転移をめぐる」

open 18:30 start 19:30 ¥1,500 (one drink)

言葉に耳を傾け、復唱しつつ、意味を咀嚼しながら、遅れをとりつつ、オートマチックに、音に反応しながら、意味を咀嚼せずに、躊躇しつつ、近づきながら、距離をとりつつ、積極的に、音に耳を傾け、復唱しながら、デモの中を歩く。発話する主体と転移をめぐる。

12.20〔土〕|コレクティブ・アクト、パーティシペーション

田中功起「不安定なタスク#13 持ち寄った服を交換する」

open 18:30 start 19:30 ¥1,500 (one drink)

2012年から始めた「不安定なタスク」はblanClassでの複数回を踏まえた上で、ヨーロッパのいくつかの都市でも展開した。その一部はヴェネチア・ビエンナーレの日本館（2013年）で発表され、新しいタスクが加えられファンアッペ美術館（2014年）では途中経過をまとめた展示を行った。その間に震災をめぐる言説は大きく変化し、国内をまとめ上げ、のちに国内をばらばらにした。ぼくの方法は現実から出発し、同じ場所をぐるぐると旋回していただいだけれども、周囲が変化することでいつの間にかそれはある種のユートピアのようなものを目指すものに見えてきた。
今回は二部構成。前半はいままでのすべてのタスクについて紹介します。後半は、さらに新しいタスクを行います。参加者のみなさんは、いらなくなった服をもってきてください。自分のものでも家族のものでもかまいません。それを持ち寄り、それがほしいと思った別の参加者にあげましょう。自分がほしいと思ったものは素直にもらいましょう。今回は服を持ち寄りだれかと交換します。



fig.1 2014.6.7.CAMP [Ideas on the Move: シミュレーションルーム #3]



fig.2 伊藤丈紘 「Out there」



fig.3 松田 修 「リビングメッセージ」



fig.4 塩尻 nanoda



fig.5 原田賢幸 イメージ写真



fig.6 平倉 圭 〈テキスト、山、車-部分〉（部分）



fig.7 高橋耕平 「About the outline of "me" and "you". About the outline of "you" and "me".」 HD VIDEO(6m59s) 2011



fig.8 2013.1.25. 田中功起 「不安定なタスク#4、夢を共有し、物語にする」

アクセス 井土ヶ谷駅はエアポート急行も止まります。

〈品川から京急の場合〉
京急蒲田でエアポート急行（横浜方面行）に乗り換えて井土ヶ谷駅下車。約30分

〈横浜から京急の場合〉
下りエアポート急行で2つ目（約8分）、普通で5つ目（約11分）、井土ヶ谷駅下車。

京浜急行「井土ヶ谷駅」改札出て正面の信号を渡ってすぐ左折、1つ目の交差点を右折、2つ目の角を左折、三井のリパーク後ろ、白いblanClass看板がある細い段々を上がって右の建物2階

イッチ

月イチセッション

杉田敦、CAMP、9月からは岸井大輔も加わって展開するトークセッション。月1回のペースで連続しつつ、1回1回が読切りの面白さ、毎回刺激的な内容で展開中!どこを切っても違った面白さがあるので、途中参加も気にせず、ドシドシ参加してください。

杉田 敦 | ナノ・スクール

極小の学校を謳ってスタートしたナノ・スクールも1年が経過しました。知っていると思い込んでいることを可能な限り小さくして、再び、本当の意味で知るために努力してみること。アートにとって重要だと思われるそうした姿勢を、これからいろいろな試していければと思います。
※これまでどおり、ナノ・スクールは完全予約制となります。参加資格は、アート、あるいはそれに関連する分野の専門家、あるいは専門家を目指す人とさせていただきます。

11.14〔金〕[nano school #22 | そこにそれはない、あるのかもしれないけれど]

start 18:30 ¥1,200・学生¥1,000 定員：30名（要予約）

12.12〔金〕[nano school #23 | そこにそれはない、あるのかもしれないけれど]

start 18:30 ¥1,200・学生¥1,000 定員：30名（要予約）

【ナノスクール予約方法】

info@blanclass.comに以下の内容でイベント前日までに送信ください。
こちらからの返信を持って予約完了とさせていただきます。
なお定員に達した場合などお断りすることもございますので、あらかじめご了承ください。
〈タイトル〉 ナノスクール予約
〈本文〉①日にち ②氏名 ③住所 ④メールアドレス ⑤参加人数

The 3rd Ido- Gaya biennale

第3回 イドガヤ・ビエンナーレ 開催中 <http://idogayabiennale.tumblr.com>
わたしたちはカリブ海に何を求めているのか？ 第6回カリビアン・ビエンナーレのカタログの冒頭の言葉です。求め、消費し、くり返す。639年の長さのジョン・ケージのオルガン曲、ASLSPは、誰にも消費を許さない。第3回イドガヤ・ビエンナーレもまた、消費から逃れるための試みです。

会期：2014年10月11日〔土〕－12月12日〔金〕

会場：blanClassを中心とした井土ヶ谷周辺

通常のイベント時のみ開催します。作品は、blanClassにおかれている解説をご参照ください。
作品は、会期にかかわらず鑑賞可能なものもあります。

◆第3回イドガヤ・ビエンナーレ作品公募

下記の条件をクリアできている場合に、正式参加となります。作品の条件は以下です。

・何もつからない

・何も演じない

・何も指示しない

なお、作品タイトルは必要ありません。主催者は、正式参加次第、HPに作家名をUPし、解説の更新を行う以外、何も行いません。参加希望の方は作品内容を100字程度で解説の上、アーティスト名、連絡先を明記の上、「第3回イドガヤ・ビエンナーレ参加希望」の題名のメールを下記のアドレスに送付してください。なお公募は、展示最終日前日12月11日〔木〕を締め切りとします。
メールアドレス: idogaya.biennale@gmail.com

CAMP | えをかくこと

絵を描く人と絵を描かない人と「えをかくこと」について話し合います。詳細はblanClassやCAMPのサイトで。

11.27〔木〕[えをかくこと #7] 企画:荻野僚介（アーティスト）

start 19:30 ¥1,200・学生¥1,000 定員:30名（要予約）

12.18〔木〕[えをかくこと #8] 企画:末永史尚（アーティスト）

start 19:30 ¥1,200・学生¥1,000 定員:30名（要予約）

【CAMP|えをかくこと】予約方法

予約フォームかメールでご予約ください。

●〈予約フォーム〉<http://bit.ly/LXO3ao>

●〈予約方法詳細〉<http://ca-mp.blogspot.jp/2008/06/blog-post.html>

●〈メールアドレス〉notesoncamp@gmail.com
〈メールのタイトル〉キャンプ予約
〈メールの本文〉①イベント名 ②氏名 ③メールアドレス ④参加人数
※ 当日参加も大歓迎です。その場合でも準備がありますので、ご予約をお願いします。
CAMP <http://ca-mp.blogspot.com/>

岸井大輔 | アジアで上演する

アジアを概念化し、西洋芸術に接ぎ木して作品製作をすることは、歴史を振り帰るまでもなく、陳腐であり、かつ危険な飛躍となりやすい。しかし、それを承知の上で、アジアに新たに向かい直す芸術家が増えている。しかも、彼らは、表現形式として展示ではなく上演を志向することが多いようだ。そこで、何人かの「アジアで上演する」アーティストにスポットをあて、発言を記録、交流し、結果新たな組み合わせによる上演までやれたらいいなと考えている。

11.17〔月〕[アジアで上演する #3] ゲスト:武藤大祐（ダンス批評）

start 19:30 ¥2,000 定員:30名（要予約）

12.5〔金〕[アジアで上演する #4] ゲスト:黒瀬陽平（美術批評）

start 19:30 ¥2,000 定員:30名（要予約）

【アジアで上演する予約方法】

以下の内容をイベント前日までにメールで送信ください。こちらからの返信を持って予約完了とさせていただきます。なお定員に達した場合などお断りすることもございますので、あらかじめご了承ください。

〈タイトル〉アジアで上演する予約
〈メールアドレス〉info@blanclass.com
〈本文〉①日にち ②氏名 ③住所 ④メールアドレス ⑤参加人数

「アジアで上演する」特設サイト（近日公開予定） <http://presentonasia.wix.com>

